

38. 高松市地域公共交通再編実施計画

- 「コンパクトプラスネットワーク」の考えの下、鉄道を基軸としたバス路線の再編により、持続可能な公共交通ネットワークを再構築し、集約されたまちを公共交通でつなぐ。
- 結節拠点整備等をトリガーとして、段階的に再編事業を拡大し、一定のサービス水準を維持しながらバス路線再編等を進める。

【計画区域】

基本的に高松市の全域

【計画期間】

令和2年度から令和6年度まで

【基本方針】

- 1 少子高齢化が進行するなかでも持続力の高い公共交通網体系の再構築
- 2 拠点間を効率的に結ぶ公共交通軸の強化・形成
- 3 各拠点へのアクセス性の向上
- 4 中心市街地における回遊性の向上
- 5 中心部への自動車利用の抑制
- 6 地域にとって望ましい交通行動の周知・啓発
- 7 多様な主体の連携による交通まちづくりの推進

【主な事業内容】

- ① 郊外から中心部へのバス路線を、鉄道を基軸としたフィーダー化(既存バスの再編)
- ② 交通結節拠点と拠点間を繋ぐアクセスの確保
- ③ 中心部の回遊性向上
- ④ 公共交通空白地域から交通結節拠点へのアクセス確保

【1次再編の概要】

- 運行改善、ドライバー確保のため、利用者の少ない路線を見直し



交通結節拠点

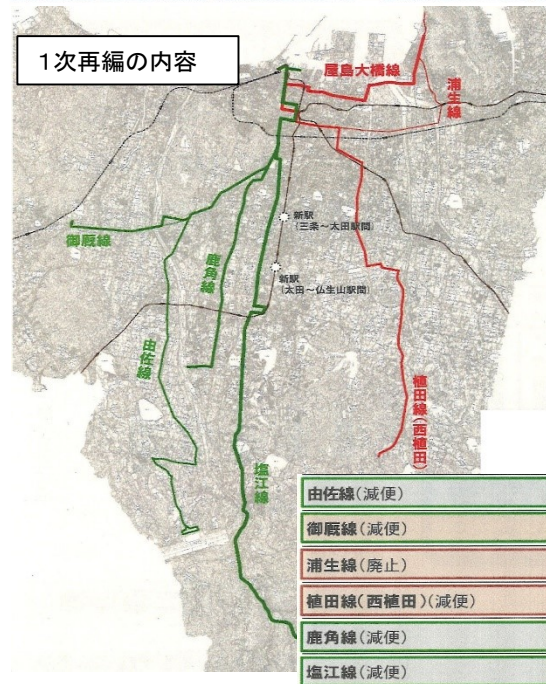
- 既存ストックを活用
- 鉄道を基軸としたバス路線の再編を行い、まちづくりに寄与するものとなるよう検討・整備する。

バス路線再編

- 既存路線のスクラップと新規路線のビルドを、パッケージにより一体的に行う。

サービス水準

- 再編により発生する、鉄道とバスとの乗継ぎを促進するため運賃や時間的抵抗を軽減し、再編後においても、サービス水準を維持する。



再編完了後バス路線図(案)

